

10月の衛研検査情報

～トピックス～

平成29年度 医動物・種類同定検査のまとめ（7～9月）

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。平成29年7月から9月の種類同定検査件数は、11件でした。

主な結果 種類同定検査の内訳は昆虫類9件（カメムシ目1件、コウチュウ目2件、ハチ目5件、ハエ目1件）、その他の節足動物2件（クモ目2件）でした。特定外来生物のヒアリが7月に横浜港で発見されたことから、アリ類（ハチ目）の相談が多くみられました。

残留農薬検査（その2）

平成29年6～8月に食品専門監視班、各区福祉保健センターが搬入した市内産農産物（24検体）、国内産農産物（6検体）、輸入農産物（2検体）について、残留する農薬の検査を行いました。

主な結果 19検体から農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。

アレルギー物質を含む食品の検査結果（その1）

横浜市では主に特定原材料（卵、乳、小麦、そば、落花生、えび、かに）の表示がない食品の検査を行い、食品の安全を確認しています。平成29年5月および8月に健康福祉局食品専門監視班が市内の食品製造所で収去した食品と、インターネット通販で買取した食品について、乳（16検体）、卵（21検体）、小麦（7検体）の検査を行いました。

主な結果 原材料に乳を使用していないとされる食品のうち、菓子類1検体で陽性となりました。この検体はインターネット通販で買取した食品であり、製造所を所管する自治体に調査を依頼しました。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成29年9月は、大麻（マリファナ）、クロストリジウム-ディフィシル感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（電子パンフレット）、B群レンサ球菌（GBS）感染症に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は98,632件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。